

矢部川水系河川整備基本方針

基本高水等に関する資料（参考資料）

（素案）

本参考資料については、流域定数の変更に伴い、
図、表、数値等の修正及び精査中です。精査が完了した後、公表致します。

平成 26 年 3 月 26 日
国土交通省 水管理・国土保全局

目 次

1. 流域と洪水の概要	1
1.1 流域の概要	1
1.2 平成 24 年 7 月 14 日洪水の概要	1
1.3 主要洪水との降雨特性比較	7
2. 平成 24 年 7 月洪水の観測流量に関する検討	11
3. 流出計算に使用するデータの点検	12
3.1 地上雨量観測雨量の妥当性の確認	12
3.2 日向神ダムにおける実績流入量・放流量について	19
4. 新たな流出解析モデルの構築	20
4.1 方法	20
4.2 モデルの概要	20
4.3 モデル分割	22
4.4 定数の設定	23
4.4.1 流域定数の設定	23
4.4.2 河道定数の設定	45
4.5 流出解析による実績再現結果	48
4.5.1 検証対象洪水	48
4.5.2 流出解析に用いる定数	49
4.5.3 検証対象洪水の再現計算結果	50
4.6 平成 24 年 7 月洪水の流出計算結果	63
5. 基本高水のピーク流量の設定	64
5.1 基本高水のピーク流量設定の考え方	64
5.2 計画規模の設定	64

5.3 矢部川流域の対象降雨の降雨継続時間の設定	64
5.3.1 対象降雨の降雨継続時間設定の考え方	64
5.3.2 洪水到達時間	68
5.3.3 ピーク流量と雨量相関について	77
5.3.4 強い降雨強度の継続時間	80
5.3.5 対象降雨の降雨量継続時間の設定	81
5.4 年最大流量及び年最大雨量の経年変化	82
5.5 時間雨量データにおける確率からの検討	84
5.5.1 対象降雨の降雨量の設定	84
5.5.2 主要洪水における 1/100 規模の降雨量への引き伸ばしと流出計算	87
5.6 対象降雨の地域分布及び時間分布の検討	103
5.6.1 地域分布の評価について	103
5.6.2 時間分布の評価について	115
5.6.3 対象降雨の地域分布及び時間分布による評価結果	116
5.7 流量データによる確率からの検討	117
5.8 既往最大洪水の流量	121
5.9 全ての時間雨量が 1/100 となるモデル降雨波形の検討	122
5.9.1 モデル降雨波形の考え方	122
5.9.2 年最大雨量の整理	123
5.9.3 確率計算	130
5.9.4 モデル降雨波形の作成及び流出計算結果	131
5.10 基本高水のピーク流量の設定	140
6. 平成 19 年方針策定時流出解析モデルの検証	141
7. 貯留関数法以外の手法による流量算出結果	142
7.1 分布型流出モデルによる流量算出結果	142
7.1.1 土研モデルの概要	142
7.1.2 分布型流出モデルの構造	143
7.1.3 矢部川流域への適用	148